

## 特集

瀬戸内国際芸術祭 2013 夏会期まもなく開幕

RACDA かわら版連載コーナー  
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

# 小さな旅



大変賑わった芸術祭春会期の終了から3ヶ月、多くの学校で夏休みが始まる7月20日

より芸術祭夏会期が始まる。今会期では直島・豊島・小豆島・女木島・男木島・大島・犬島・高松港・宇野港のほかに、“イリコの島”とも言われる観音寺の『伊吹島』が会場となる。

宇野港からフェリーで20分の直島は、現代アートの聖地とも言われる島。ベネッセハウスミュージアム、家プロジェクト、地中美術館、そして体感するアート直島銭湯「I♡湯」。港の入口では草間彌生の作品である赤い水玉模様のかぼちゃが迎えてくれる。

瀬戸内海で2番目の大きさの小豆島は土庄港付近のほかに、肥土山地区、三都半島、福田港、坂手港など、島全体が会場になっている。会期中は芸術祭線も運行されるほかお得な一日乗車券も発売されている。小豆島へは新岡山港・宇野・日生・高松・姫路・三宮からアプローチできる。

女木島・男木島は高松港沖にある島。女木島は別名「鬼ヶ島」とも呼ばれ鬼が居たと言われる洞窟がある。また男木島は“おんば”と呼ばれる乳母車を島中で見かけることが出来る。女木島・男木島へは高松港より20～40分ほど。

犬島は岡山市東区の有人島。ここではかつて移動していた精錬所を美術館としている。そのシンボルが島にそびえる煙突。周囲4kmの島は1周歩いて約1時間。家プロジェクトなどを見ながら島を巡ってもいいだろう。犬島へは岡山駅からの直行バス(45分)または西大寺駅から西宝伝(30分)へ。宝伝港から

はあけぼの丸で犬島まで約7分。

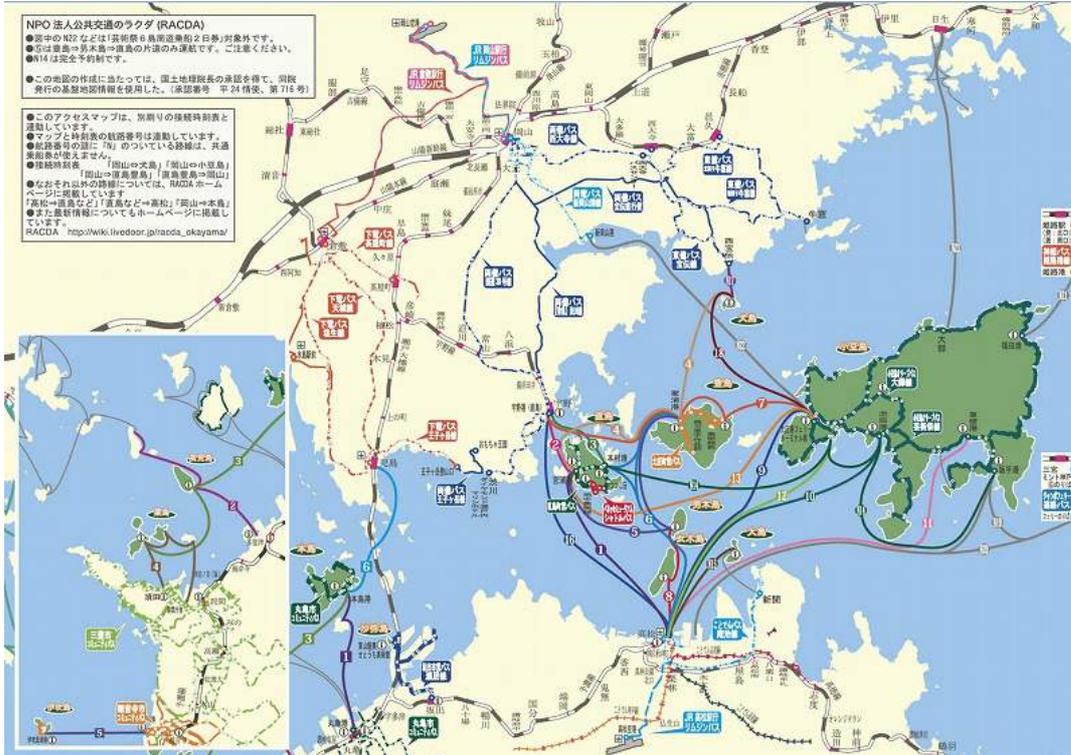
夏限定で会場となる伊吹島は観音寺港から西へ10kmの島。普段はイリコ(カタクチイワシ)漁に出る漁船や煮干加工の工場が並ぶのどかな島である。



観音寺市は高松市から約56km西に位置する街。JRで移動すると約1時間かかるが、予讃線普通列車の一部も芸術祭の“作品”として運行を行っている。写真家・荒木経惟氏の作品「アラキー列車」は乗車券のみで観賞可能。観音寺までの行き帰りは

この列車に乗車するのもいいだろう。観音寺駅から港までは30分間隔で運行の無料シャトルバスがある(約10分)。また夏会期中は高松空港から観音寺港まで臨時路線バスが運行されます。予約制ですのであらかじめ予約をお願いします。

いよいよ迫った芸術祭夏会期。いつもと違う瀬戸内海を見に行っはいかがだろうか。(松田和也)



瀬戸内国際芸術祭・備讃瀬戸アクセスマップ(接続時刻表付)を、岡山駅・観光案内などで配布中